

原料費調整制度に基づく平成30年11月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、平成30年6月から平成30年8月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
3ヵ月の平均原料価格			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				

○平成30年11月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			平成30年10月検針分	平成30年11月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	195.34 円	196.67 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	186.04 円	187.37 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	176.90 円	178.23 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

平成30年6月から30年8月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	57,170 円/トン(10円未満四捨五入)
平成30年6月から30年8月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	64,870 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 57,170 円/トン×0.9771 +64,870 円/トン×0.0474	58,940 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	58,940 円 - 38,910 円 = <u>20,000 円/トン</u> (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
平成30年11月分検針の調整額(1m ³ あたり)	20,000 円×0.077 円÷100×1.08 = <u>16.63 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
平成30年10月分検針の調整額(1m ³ あたり)	15.30 円(税込)
(11月分)対(10月分)増減(1m ³ あたり)	<u>+1.33 円(税込)</u>

平成30年11月分の単位料金を1m³あたり +16.63円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	平成30年10月分料金	平成30年11月分料金	影響額
20m ³	4,595円	4,622円	+27円